

10/7 414
PCT/JP93/03889

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

03.02.97

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1995年12月28日

REC'D 03 FEB 1997
WIPO PCT

出願番号
Application Number:

平成 7年特許願第354751号

出願人
Applicant(s):

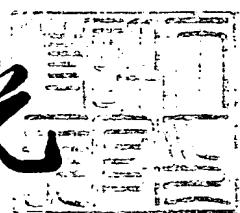
小野 憲司
荒木 義

PRIORITY DOCUMENT

1997年 5月23日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

荒井 寿光



出証番号 出証特平09-3020376

【書類名】 特許願
【整理番号】 TAKO-01
【提出日】 平成 7年12月28日
【あて先】 特許庁長官 清川 佑二 殿
【発明の名称】 台車兼電動移動車
【請求項の数】 1
【発明者】
【住所又は居所】 埼玉県浦和市東岸町16番7号 藤和南浦和コーポA4
01
【氏名】 小野 憲司
【特許出願人】
【郵便番号】 336
【住所又は居所】 埼玉県浦和市東岸町16番7号 藤和南浦和コーポA4
01
【氏名又は名称】 小野 憲司
【電話番号】 048-887-1226
【特許出願人】
【郵便番号】 108
【住所又は居所】 東京都港区高輪4丁目14番13号
【氏名又は名称】 荒木 義
【電話番号】 03-3441-1131
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【書類名】明細書

【発明の名称】台車兼電動自動車

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 3輪または4輪の電動車(エレクトリック・ヴィークル)は、人と弱感の荷物を載せ、前後に動くことができる。この機能を残しハンドル位置を可変し、床部のスペースを利することにより台車として(人が乗らず電動の力を利用)人の重量相当を車載し、運搬することができる。そのため、職場、作業場など高齢者が、快適に作業が遂行でき、併せて重量物を移動運搬する事が容易となり一台にて乗用そして台車として2通りの使用が可能である。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術】 この発明は通称シニアカーと呼ばれ高齢者や一部障害のある方の利用は勿論軽量物を運搬する場合は立乗り操作が出来、重量物やかさのあるものを運搬する場合には台車としても利用可能としたものである。

【0002】

【従来の技術】 従来は人が乗り、弱感の荷物を運ぶだけで重量物の移動・運搬するだけの目的であり、台車にはなりえなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 これには次のような欠点があった。人が乗っていない限り、電動車を動かす事が出来ず、ましてや人が乗らず台車として利用することはなかった。本発明はこれらの欠点を解決する為にされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 台車として使用する場合ハンドルが反対側からも操作することが容易に出来るよう手前に傾き、押すまたは引く事が出来る。また床部は人が乗るために必要な部分は取り外す事が出来、そこにカゴ又は箱を置き、台車としても利用可能にした。

【0005】

【発明の実施の形態】 人が乗って移動するという従来の乗り物が、用途に

応じて台車としても利用することができる。

【0006】

【実施例】 以下、本案の実施例について説明する。エアーターミナルなどの広い場所にて、病院図書館、郵便局、研究所、大学等、騒音を避けたい場所にて、小型飲料水等 宅配用として、また公園、動物園、オフィス内など、騒音をたてず快適に移動して運搬出来る。

【0007】

【発明の効果】 1台にて2役の使用法が可能である。高齢者、軽度の障害のある方々が主に利用するのみでなく、業務用として、立ち乗りし、工場内等での順回や、運搬作業をしたり、台車としてより大きく、重いものを容易に運搬出来る為、目的に応じた利用方法がいろいろあり、かつ経済的でもある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の台車兼電動移動車の着座仕様の側面図である。

【図2】 本発明の台車兼電動移動車の立乗り仕様の側面図である。

【図3】 本発明の台車兼電動移動車の台車仕様の側面図である。

【符号の説明】

1. フロントバスケット
2. 脱着自在 椅子
3. 立乗時リアバスケット
4. 脱着自在 腰あて バー
5. 可変式ハンドル
6. 台車時仕様バスケット
7. 前輪
8. 後輪

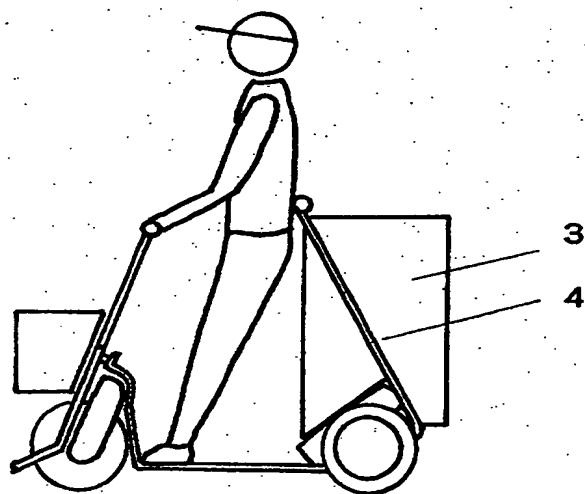
特平 7-354751

【書類名】 図面

【図1】

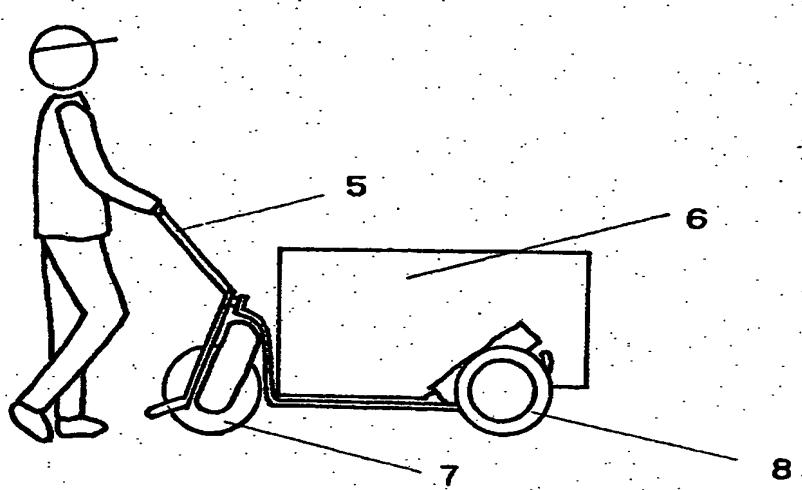


【図2】



特平 7-354751

【図3】



【書類名】 要約書

【要約】 一台の電動車にてハンドル部の傾斜角度の可変と床部の部品装着品の脱着により、人が乗っての走行と、人が乗らず台車としての走行が可能な2通りの方法にて利用出来る。

【構成】 高齢者や軽度の障害のある人（健常者は勿論可）が、そして広い場所など移動し、作業する場合が、または大きく量のあるものを運ぶ作業の時、一台にて図1、図2のようにその都度使い分けが簡単に出来る。

【選択図】 図1

図2

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】 申請人

【識別番号】 596017990

【住所又は居所】 埼玉県浦和市東岸町16番7号 藤和南浦和コープ
A401

【氏名又は名称】 小野 憲司

【特許出願人】

【識別番号】 596018001

【住所又は居所】 東京都港区高輪4丁目14番13号

【氏名又は名称】 荒木 義

特平 7-354751

出願人履歴情報

識別番号 [596017990]

1. 変更年月日 1995年12月28日

[変更理由] 新規登録

住 所 埼玉県浦和市東岸町16番7号 藤和南浦和コーポA 401

氏 名 小野 憲司

特平 7-354751

出願人履歴情報

識別番号 [596018001]

1. 変更年月日 1995年12月28日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区高輪4丁目14番13号

氏 名 荒木 義